

「耐震パワープラス[®]」 技術的に評価

株式会社サニックス(本社:福岡県福岡市、代表取締役社長 宗政 寛)は、木造住宅向けの耐震補強工法「耐震パワープラス」を開発し、一般財団法人日本建築防災協会による「住宅等防災技術評価制度」で技術的に評価されました。

■「耐震パワープラス[®]」とは

木造住宅^{*1}を対象とした耐震補強工法です。耐震診断の結果に応じて、必要な箇所(壁)の内装材をはがし、壁内部に独自の補強金物を施工することで、住宅の耐震性を耐震基準レベル^{*2}(評点 1.0)以上に向上させます。

*1 昭和25年~平成12年5月までに着工された、在来軸組工法、2階建て以下、延床面積500㎡以下の住宅

*2 (一財)日本建築防災協会が定める上部構造評点。評点1.0~1.5未満の場合、大地震でも「一応倒壊しない」とされている


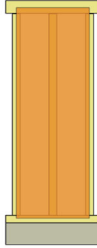
■「耐震パワープラス[®]」の特長

1.天井や床を解体せずに施工可能

既存の床・天井を解体せずに施工を行うため、施工期間中も部屋を利用でき、生活への影響を最低限に抑えることが可能です。

2.短期間で施工可能

床や天井の復旧工事が不要なため、施工期間を短縮できます(弊社調べ)。

工法	耐震パワープラス [®] (大壁、石膏ボード準耐力壁仕様)	構造用合板 (大壁、耐力壁仕様)
壁基準耐力(kN/m)	5.0	5.2
天井・床板工事	不要	必要
壁板工事	必要	必要
工期	2~3日	3~4日
全体図		

※6 畳の洋間で半間壁を1壁、または2壁を工事した場合を想定。工事内容によって工期は異なります

当社は、今後もお客様の大切な住まいを守る技術の研鑽に努め、快適な住環境が次世代につながっていく社会の実現を目指します。

■住宅等防災技術評価制度

民間で開発された戸建住宅向けの耐震改修技術などについて、技術性能評価や設計・施工方法の明確性、品質保証体制を審査・評価することで、防災技術の普及と住宅性能の向上を促進することを目的とした評価制度。